

第51回 整腸剤

整腸剤はおなかの調子を整えて腸内環境を正常に戻すくすりの総称です。整腸剤の中身は、ビフィズス菌などの善玉菌が主成分です。善玉菌とは、腸内で乳酸や酪酸を作り出す細菌のことで、反対に悪玉菌は腸内で硫化水素などの悪臭のもととなるいわゆる腐敗物質を作り出す細菌のことで、病院で使われるくすりでは、ビフィズス菌と酪酸菌を主成分にしたものが作られています。また、薬局やドラッグストアなどで買える整腸剤ではビフィズス菌と酪酸菌の他に納豆菌や善玉菌以外の成分（漢方など）を含む場合も多いです。納豆菌と言われると、血液サラサラのくすりに詳しい方なら思いつくとはいいますが、ワーファリン（ワルファリンカルシウム）を飲んでいる人は納豆を食べてはいけないというのがあります。これは納豆に含まれる納豆菌がビタミンKを腸内で作ってしまい、ワーファリンの作用を邪魔してしまうためです。つまり、納豆菌が含まれる整腸剤は、ワーファリンを飲んでいる人が使用するには医師や薬剤師に相談することが必要になります。ここで注意してもらいたいのは、ワーファリンと相互作用がある納豆菌が含まれるのは、市販薬（薬局やドラッグストアで購入することができる薬）であって、病院で出される整腸剤には納豆菌を含む整腸剤は無いので、ワーファリンを飲んでいる人も安心して飲むことができます。

それでは、当院に採用されている整腸剤を見ていきましょう。

ラックビー微粒 N：発売時のビフィズス菌の菌名であったラクトバチルスビフィダス (*Lactobacillus bifidus*) よりラックビー (LAG-B) と命名し、微粒 N については形状（微粒）及び、抗生物質に対する耐性を付与していない通常 (normal) の生菌製剤であることから、“N” を付した。

エンテロノン R 散：腸 (Entero) と耐性 (Resistance)

どちらも乳酸菌の製剤ですがラックビーは通常の乳酸菌に対して、エンテロノン R は耐性乳酸菌です。これは、そもそも、乳酸菌は細菌なので、細菌を殺す目的で使われる抗生物質に反応してしまい、乳酸菌自体が死滅してしまうので、特定の抗生物質に強くした（耐性）乳酸菌が耐性乳酸菌です。ラックビーは以前は牛乳アレルギーがあると使用することができなかったですが、今は改良が加えられて、牛乳アレルギーがある人にも使用できるようになっています。

ミヤ BM 錠：特になし

ビオスリー錠：特になし

これらはどちらも酪酸菌を主成分とした整腸剤です。大まかには乳酸菌と同じ様に働きますが酪酸菌は乳酸菌よりも、もともと抗生物質に強い性質があるため（抗生物質にも強い殻に入っています）、耐性乳酸菌が使えない抗生物質にも使える可能性があります。

次回はアレルギーに効く目薬です。